

# 施策分析シート（平成29年度）

No1

<b>施策名</b>	介護予防の推進	<b>施策No</b>	02-02	<b>部課名</b>	福祉部高齢者福祉課		
				<b>課長名</b>	堀 内線 2660		
<b>関連部課名</b>	福祉部介護保険課、健康部健康推進課						
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	生涯健康都市					
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成				
<b>目的</b>	健康寿命の延伸のため、誰もが積極的、自主的に多様な介護予防活動に取り組めるよう支援する。また、認知症に対する区民の理解を促し、早期発見・早期診断・早期治療を通して、症状の進行を遅らせる等により、在宅生活を続けることができる体制を整備する。						
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		26年度	27年度	28年度			
	福祉の充実度	3.04	3.07	3.05		お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？	
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	要介護等認定者出現率（65歳～74歳、％）	4.63	4.60	4.77	4.40		3.70
	要介護等認定者出現率（75歳以上、％）	31.14	31.13	31.43	30.80		31.50
	認知症サポーター数（累計、人）	7,339	9,202	11,371	13,200		24,000
	介護を必要としない高齢者の割合（％）	82.1	82.0	82.1	83.0		84.0
健康推進リーダー活動者数（人）	156	164	138	160	180		

（単位：千円）

<b>行政コスト計算書</b>	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		66,337		行政収入	地方税等		0
		物件費		404,577			国庫支出金		222,858
		維持補修費		0			都支出金		114,205
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		384,108			使用料及び手数料		0
		減価償却費		0			その他		252,778
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		589,841
		賞与・退職給与引当金繰入額		2,819			行政収支差額(a)-(b)=(c)		267,999
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
行政費用合計(b)			857,840		通常収支差額(c)+(d)=(e)			267,999	
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		267,999			
貸借対照表	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		流動負債		2,772	
		不納欠損引当金		0			還付未済金		0
	その他の流動資産		66,402		特別区債		0		
	固定資産	有形固定資産		0		賞与引当金		2,772	
		土地		0		その他の流動負債		0	
		建物		0		固定負債		18,092	
		建物減価償却累計額		0			特別区債		0
		工作物等		0			退職給与引当金		18,092
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
無形固定資産		0		負債の部合計		20,864			
建設仮勘定		0		正味財産		87,266			
その他の固定資産		0		正味財産の部合計		87,266			
資産の部合計		66,402		負債及び正味財産の部合計		66,402			

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区では、様々な介護予防事業を実施しているが、男性の参加者が少ない傾向にある。</p> <p>後期高齢者の増加に伴い、認知症等により介護サービスが必要になる方が増加しており、今後も更なる増加が予測される。</p> <p>認知症に関する正しい理解を学ぶ認知症サポーターの数は平成19年の制度開始当時は403人だったが、平成28年に10,000人を超えるなど、毎年着実に増加している。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして物件費と補助費等が大きな割合を占めている。物件費のうち委託料が最も多く、157,384,086円（37%）となっており、認知症地域支援推進員の人件費やケアマネジメント関連の委託料が大半を占めている。補助費等の内訳としては、介護予防・日常生活総合事業サービス事業費をはじめとする負担金に係る経費が最も多く379,225,328円（98%）となっている。</p>
課題	<p>健康づくりや介護予防の活動に対する区民の意識を高め、活動への動機付けを行っていく必要がある。</p> <p>介護予防事業の目的に沿った対象者の参加がなかったり、期待される効果が得られていないメニューがあるため、メニューの見直しや充実を図る必要がある。</p> <p>認知症に対する正しい理解を普及するとともに、早期発見・早期診断の体制を整備する必要がある。</p> <p>認知症の方やご家族等が集う「認知症カフェ（オレンジカフェ）」の運営を支援し、担い手を育成するとともに、認知症サポーターを地域での具体的な活動に結び付けることが求められる。</p>
今後の方向性	<p>区民を介護予防活動に誘引するための方策を工夫するとともに、活動の継続を支援していく。</p> <p>参加が少ない男性の参加を促すことを念頭に置きつつ、介護予防・日常生活支援総合事業などの介護予防に関するメニューを充実させていく。</p> <p>相談体制の充実及び認知症初期集中支援チーム、医療機関との連携強化を図るなど、認知症の早期発見・早期診断のための体制を構築する。</p> <p>認知症サポーターの更なる養成を進めるとともに、サポーターへのフォローアップ研修の実施、認知症カフェ（オレンジカフェ）の支援など地域での支え合いの輪を広げていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	健康寿命の延伸を図り、要介護にならないための早期からの介護予防と、重症化を防止するための早期対応可能な体制の構築を重点的に推進していく。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
ひざ痛予防教室	08-03-35	402	63	継続	休止・完了	より若い世代から予防的な啓発を行うために健康づくり支援事業に組み込み、健康増進計画に則りロコモティブシンドローム対策とともに多様な方法で展開していく。
理学療法士訪問指導	08-03-36	997	979	継続	継続	ニーズがあり、自立支援のためには必要な事業であり、継続する。
介護予防普及啓発事業	08-03-37	10,658	15,676	推進	推進	高齢者が介護予防に積極的に取り組み、できるだけ長く健康を維持するよう、引き続き推進していく。
健康推進リーダー育成	08-03-38	462	1,283	重点的に推進	重点的に推進	介護予防の担い手として核となるリーダーであり、介護予防を区民が主体的に展開していくために育成を強化する。
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）	08-03-39	101,095	104,846	推進	推進	平成27年4月に開始した総合事業に要支援者を適切につなげ、要介護にならないよう介護予防を推進していく。
介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）	08-03-40	265,814	309,131	推進	推進	平成27年4月に開始した総合事業に要支援者を適切につなげ、要介護にならないよう介護予防を推進していく。
介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防ケアマネジメント）	08-03-41	51,414	51,875	推進	推進	効果的で効率的な介護予防事業を展開し、介護予防を推進していく。
認知症予防通所サービス事業	08-03-42	10,362	14,421	推進	継続	予防活動への取組は重要なため、より参加者を増やし継続する。
認知症サポーター、キャラバン・メイト	08-03-43	1,106	1,377	重点的に推進	重点的に推進	認知症高齢者と家族を支援する地域づくりを図り、関係機関との連携を強化する。
認知症総合事業	08-03-44	202	51,235	重点的に推進	重点的に推進	認知症についての普及啓発を図り、地域で支える地域づくりを進めるとともに早期発見・早期診断に向けた関係機関との連携を強化する。
地域包括支援センター事業	08-03-45	232,880	242,541	重点的に推進	重点的に推進	地域における高齢者の総合相談窓口として、迅速かつ適切に対応するため、センターの運営体制を強化し、充実を図る。

介護予防推進事業	08-03-50			推進	継続	多様な主体による介護予防の取組を支援することで、地域での自主的な取組を促進していくために継続する。
いきいきボランティアポイント制度事業	08-04-22	983	1,100	重点的に推進	重点的に推進	ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励・支援し、また高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を促進していく上で、重要な事業である。
ころばん体操	09-02-31	5,535	2,573	重点的に推進	重点的に推進	参加者の転倒予防と閉じこもり防止に成果があり、小地域のコミュニティ形成の一翼を担っているため、さらなる参加者の拡大を図る。
合 計		681,910	797,100			